

# 学生図書委員会 読書のすすめ

電子制御工学科2年 岩崎 圭吾

今年度はとにかく普通のことができない一年となった。

新しくなった図書館も前期はほとんど使用できず、ブックハンティングは前期は中止になったので代わりに推薦図書募集を実施し、後期はオンラインで行うこととなり、毎年恒例の読書感想文コンクールは行われなかった。図書委員という仕事をしていながら、直接本に触れる業務はあまりした記憶が無い。

だが、所謂「おうち時間」の増加により、家で本や漫画を読んだり、ドラマやアニメをみたりする時間が増えたという人も大勢いるのではないだろうか。かく言う私もその一人である。

書籍にも色々種類がある中で、近年は特に、電子書籍の需要が高まり、紙の書籍の売り上げが減少傾向にあるらしいが、私は断然、紙の書籍派である。書店や図書館に立ち寄り、特に何の目的も無く本を眺め、もし何か気になる本を見つけたら、試しに手に取ってみる。そして、購入した本を自宅の本棚に並べ、その背表紙を眺めるのもまた良い。そんな、電子書籍では味わえない時間が、私は好きである。

別に電子書籍を否定したいわけでは無い。私も電子書籍を利用するときがあるし、その利便性にとってもお世話になっている。私が言いたいのは「普段本を読まない人や、電子書籍しか利用しない人も、たまには紙の書籍も読んでみよう。」「普段紙の書籍しか読まない人も、たまには電子書籍を利用してみよう。」ということである。紙の書籍だろうが電子書籍だろうが、今時インターネットでいくらでも注文できるし、幸運にも奈良高専にはとても規模の大きい図書館があるではないか。やれレポートが、課題が、山積みであるだとか、部活があるだとか何かと忙しい高専生だが、せっかくの長期休暇には図書館で本を借りて試みに読んでみてはどうだろうか。高専の長期休暇は本当に“長期”の休暇なのだから。外に出ることがあまり推奨されていない今だからこそ、家での時間を少しでも有意義に使うために。

## 図書館では希望図書を随時受け付けています

図書館にないのでぜひ備えてほしいという本を募集しています。

カウンターへ申し出ていただくか、[tosho@jimunara-k.ac.jp](mailto:tosho@jimunara-k.ac.jp)までメールをお願いします。

詳しくは、図書館ホームページの「資料検索」のタブから「推薦（希望）図書」をご覧ください。